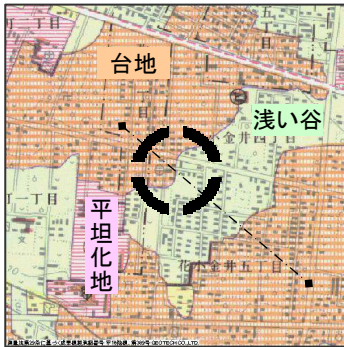
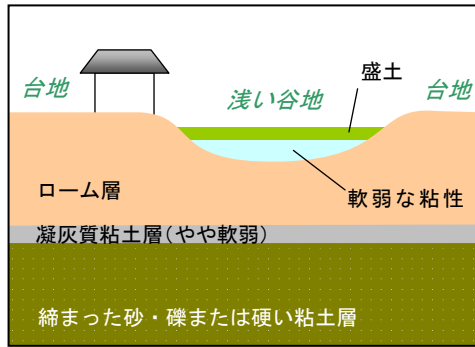


沈下事例ファイル **016** 台地と浅い谷の境／東京都小平市



土地条件図



土地条件図から予想される地形断面

- ◆ 台地上に形成された浅い谷地の縁に位置する
- ◆ 浅い谷地は、凹地や窪地と同様に排水の悪い地盤であることが多く、特に上位地盤の軟弱性に注意を要する
- ◆ 表層～上位地盤を除くと、周辺台地とほぼ同様の地層構造を示す

【建物構造】

- 木造2階、東側に半地下車庫あり
- 築 12,13 年
- 布基礎、東立て、防湿土間なし

【沈下測定】

- 建物西側半分に沈下が集中
- 床下では基礎が浮いて、クラック数箇所
- 最大沈下量 80mm、最大変形角 12/1000rad

【地盤調査】

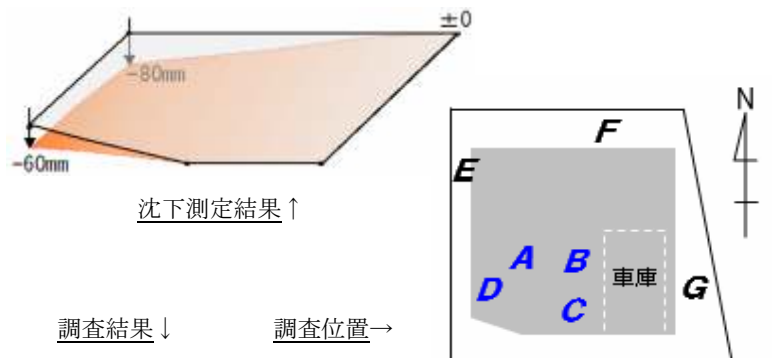
- 表層地盤には特に問題がないようである
- 東側F, Gではローム台地の典型的な数値傾向となっている。
- 沈下の著しい西側では深度 2-3m 付近が軟弱。
- Cでは空洞とも思える低い数値を示すとともに、周囲B, D, Aでも埋め戻しのようなやや軟弱な傾向がみとれる。北側Eも同様。

【修正概要】

- ◆ 鋼管圧入による建物西側の部分修正
- ◆ 杭長約 9.0m／最終圧入圧力 130kN

【沈下要因解析】

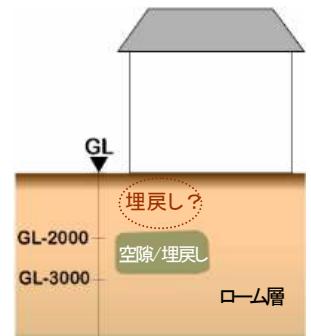
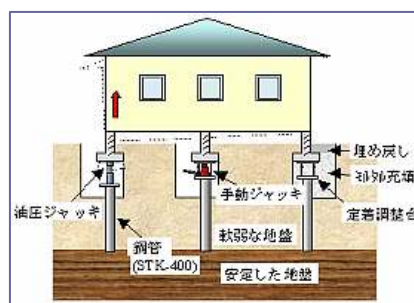
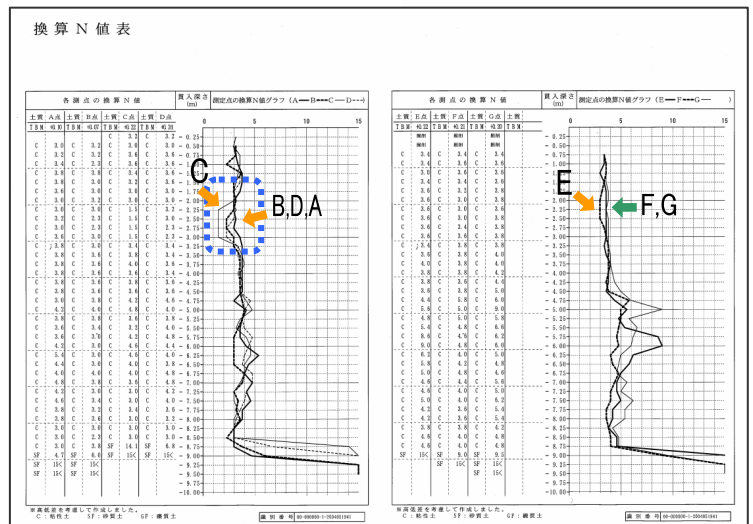
- ◆ 敷地西側の深度 2-3m 付近に空洞ないし埋め戻し様の地層が広がっていると考えられる
- ◆ 上部には軟弱性はみられないが、埋め戻しの可能性がある。いずれにしても直接基礎では耐力不足であり、地表の陥没から沈下に至ったものと思われる



沈下測定結果↑

調査結果↓

調査位置→



調査結果から推定される地盤断面